

スポーツアパレル市場に関する調査結果 2009

【調査要綱】

矢野経済研究所では、次の調査要綱にてスポーツアパレル市場の調査を実施した。

1. 調査期間：2009年9月～11月
2. 調査対象：スポーツ関連企業メーカー・卸売業・小売業約300社
3. 調査方法：当社専門研究員による直接面談、電話・e-mailによるヒアリング、ならびに郵送アンケート調査を併用

＜スポーツアパレルとは＞

本調査におけるスポーツアパレル市場とは、トレーニングウェア、ゴルフウェア、アウトドアウェア、ライフスタイルウェア、サッカー・フットサルウェア、野球・ソフトボールウェア、テニスウェア、スイムウェア、フィットネスウェア、陸上競技・ランニングウェア、スノーボードウェア、スキーウェア、バスケットボールウェア、バレーボールウェアの主要14分野をさす。なお、ライフスタイルウェアは、前調査までトレーニングウェアの一部として算出してきたが、本調査より同市場のカジュアルライン(スポーツブランドによる普段着)を特にライフスタイルウェアとして扱い、新カテゴリーとして算出している。

【調査結果サマリー】

◆2009年のスポーツアパレル国内出荷市場は、前年比99.6%とマイナス成長見込み

2009年のスポーツアパレル国内出荷市場規模(メーカー出荷額ベース)は、前年比99.6%の4,968億9,000万円の見込みである。プラス成長は、14カテゴリーの中でわずか5カテゴリーとなる。

◆陸上競技・ランニングウェア市場が唯一の二桁成長

2009年の陸上競技・ランニングウェア国内出荷市場は、前年比111.0%の100億5,000万円の見込みである。高成長が続き、100億円の大台を超える規模にまで拡大している。

◆トレーニングウェア市場は、機能性スポーツアンダーウェアの好調によりプラス成長

2009年のトレーニングウェア国内出荷市場は、前年比102.0%の1,265億円の見込みである。コンプレッション・サポート系機能性スポーツアンダーウェア^注を用いた着こなしが様々なスポーツにおいて定着してきており好調に推移している。その為、コンプレッション・サポート系機能性スポーツアンダーウェアは、新規需要を取りこめる新アイテムとして各社の注目商品となっている。

注:コンプレッション・サポート系アンダーウェアとは、体を締め付け筋肉のプレを抑えるタイプや、運動時の動作に合わせた生地裁断が施されたもの、又はテーピング機能を用いて関節などのサポートを有するタイプのトップスやボトムス。着用することにより、疲労軽減や運動能力向上などの効果が期待されるウェアをさす。

◆2010年のスポーツアパレル国内出荷市場は、前年比101.2%とプラス成長を予測

2010年のスポーツアパレル国内出荷市場規模(メーカー出荷額ベース)は、前年比101.2%の5,027億2,000万円と予測する。

◆資料体裁

資料名：「2009-2010年版スポーツアパレル産業白書」
 発刊日：2009年12月17日
 体裁：A4判 571頁
 定価：146,475円(本体価格139,500円 消費税等6,975円)

◆株式会社 矢野経済研究所

所在地：東京都中野区本町2-46-2 代表取締役社長：水越 孝

設立：1958年3月 年間レポート発刊：約250タイトル URL: <http://www.yano.co.jp/>

本件に関するお問合せ先(当社HPからも承っております <http://www.yano.co.jp/>)

(株)矢野経済研究所 営業本部 広報宣伝グループ TEL: 03-5371-6912 E-mail: press@yano.co.jp

本資料における著作権やその他本資料にかかる一切の権利は、株式会社矢野経済研究所に帰属します。
 本資料内容を転載引用等されるにあたっては、上記広報宣伝グループ迄お問合せ下さい。

【 調査結果の概要 】

1. 市場概況

2009年のスポーツアパレル国内出荷市場規模(メーカー出荷金額ベース)は、前年比99.6%の4,968億9,000万円の見込みである。以下、カテゴリー別の市場概況を記述する。

1-1. トレーニングウェア

「ウォーキング着」「エクササイズ着」、サイクル通勤者の「通勤着」などの需要と、コンプレッション・サポート系機能性スポーツアンダーウェアが好調に推移したことにより、2009年は前年比102.0%の1,265億円の見込みである。

1-2. ゴルフウェア

3年連続好調に推移してきたが、不況によるゴルファーの買い控えが市場に与えた影響は大きく、2009年は前年比97.7%の948億円とマイナス成長を見込む。

1-3. アウトドアウェア

20歳代～30歳代の新規参入者が増加していることにより同世代に向けた商品の拡充が図られている。こうした層に向けた軽量なウェアやショート丈のパンツなどの新アイテムがコア層にまで受け入れられ、2009年は前年比103.1%の565億円と前年比増で推移する見通しである。

1-4. ライフスタイルウェア

ファッショントレンドの変化による「女性のカジュアルウェア離れ」が進んでいることから市場の縮小が進んでおり、2009年は前年比97.8%の533億円となる見込みである。

1-5. サッカー・フットサルウェア

厚手のアウター類の着用から、単価の低い薄手のウェアの重ね着へと着こなしが変化していることにより、全体としての価格の下落が進んでいることから、2009年は前年比98.7%の382億円となる見込みである。

1-6. 野球・ソフトボールウェア

2009年3月の「ワールドベースボールクラシック(WBC)」における日本代表優勝の効果も購買にはなかなか結びつかず、2009年は前年比98.3%の299億3,000万円とマイナス成長の見通しである。

1-7. テニスウェア

テニスウェア以外でのプレースタイルが広まっていることを受けて、2009年は前年比97.4%の262億円となる見込みである。

1-8. スイムウェア

水着素材に関するFINA(国際水泳連盟)の基準が2010年に定められるため、スイマーの買い控えが顕著となった。2009年は前年比95.6%の197億円の見込みである。

1-9. フィットネスウェア

ランニングウェアとしてのニーズを意識したアウトドアフィットネスウェアや、フィットネスメーカーによるランニングラインが注目を集め始めていることから、2009年は前年比101.2%の131億5,000万円とプラス成長を見込む。

1-10. 陸上競技・ランニングウェア

中学生・高校生部活層による陸上競技ウェアの安定した需要を取り込んでいる。加えて、ランニング用のスカートなど新たなランニングウェアが提案されていることにより、2009年は前年比111.0%の100億5,000万円と拡大する見通しである。

1-11. スノーボードウェア、1-12. スキーウェアウェア

地球温暖化により全国的に降雪量が減っていることから、一般的に冬のレジャーとして雪山でのスポーツが想起されにくい状況となっている。その為、参加人口の減少が続き、2009年のスノーボードウェアは前年比94.2%の81億円、スキーウェアは前年比90.2%の78億5,000万円と縮小傾向にある。

1-13. バasketボールウェア

ミニバス(ジュニアバスケットボール)需要や中高部活層の底堅い競技人口に支えられ、出荷数量ベースでは前年並みの水準を維持する見通しである。金額ベースでは2009年は100.3%の71億6,000万円となる見込みである。

1-14. バレーボールウェア

市場を支える中学生・高校生部活層の競技人口が年々減少している為、2009年は前年比99.1%の54億5,000万円を見込む。

2. 将来予測

2010年のスポーツアパレル国内出荷額は前年比101.2%の5,027億2,000万円にて推移すると予測する。市場規模はプラスに転じるものの、長引く不況の影響による「消費マインドの低下」が続く恐れもあることから、2010年も引き続き厳しい状況が続くとみる。

表 1. スポーツアパレル国内市場規模推移

(単位：百万円、 上段：構成比、下段：前年比)

	2007年		2008年		2009年(見)		2010年(予)	
		%		%		%		%
トレーニングウェア	116,000	24.1%	124,000	24.9%	126,500	25.5%	129,000	25.7%
		-		106.9%		102.0%		102.0%
ゴルフウェア	91,600	19.0%	97,000	19.4%	94,800	19.1%	93,800	18.7%
		-		105.9%		97.7%		98.9%
アウトドアウェア	52,900	11.0%	54,800	11.0%	56,500	11.4%	59,400	11.8%
		-		103.6%		103.1%		105.1%
ライフスタイルウェア	55,800	11.6%	54,500	10.9%	53,300	10.7%	53,100	10.6%
		-		97.7%		97.8%		99.6%
サッカー・フットサルウェア	37,400	7.8%	38,700	7.8%	38,200	7.7%	38,700	7.7%
		-		103.5%		98.7%		101.3%
野球・ソフトボールウェア	29,400	6.1%	30,460	6.1%	29,930	6.0%	30,670	6.1%
		-		103.6%		98.3%		102.5%
テニスウェア	27,300	5.7%	26,900	5.4%	26,200	5.3%	25,600	5.1%
		-		98.5%		97.4%		97.7%
スイムウェア	19,800	4.1%	20,600	4.1%	19,700	4.0%	20,000	4.0%
		-		104.0%		95.6%		101.5%
フィットネスウェア	12,700	2.6%	13,000	2.6%	13,150	2.6%	13,450	2.7%
		-		102.4%		101.2%		102.3%
陸上競技・ランニングウェア	7,600	1.6%	9,050	1.8%	10,050	2.0%	10,900	2.2%
		-		119.1%		111.0%		108.5%
スノーボードウェア	8,950	1.9%	8,600	1.7%	8,100	1.6%	7,800	1.6%
		-		96.1%		94.2%		96.3%
スキーウェア	9,050	1.9%	8,700	1.7%	7,850	1.6%	7,650	1.5%
		-		96.1%		90.2%		97.5%
バスケットボールウェア	7,080	1.5%	7,140	1.4%	7,160	1.4%	7,250	1.4%
		-		100.8%		100.3%		101.3%
バレーボールウェア	5,530	1.1%	5,500	1.1%	5,450	1.1%	5,400	1.1%
		-		99.5%		99.1%		99.1%
合計	481,110	100.0%	498,950	100.0%	496,890	100.0%	502,720	100.0%
		-		103.7%		99.6%		101.2%

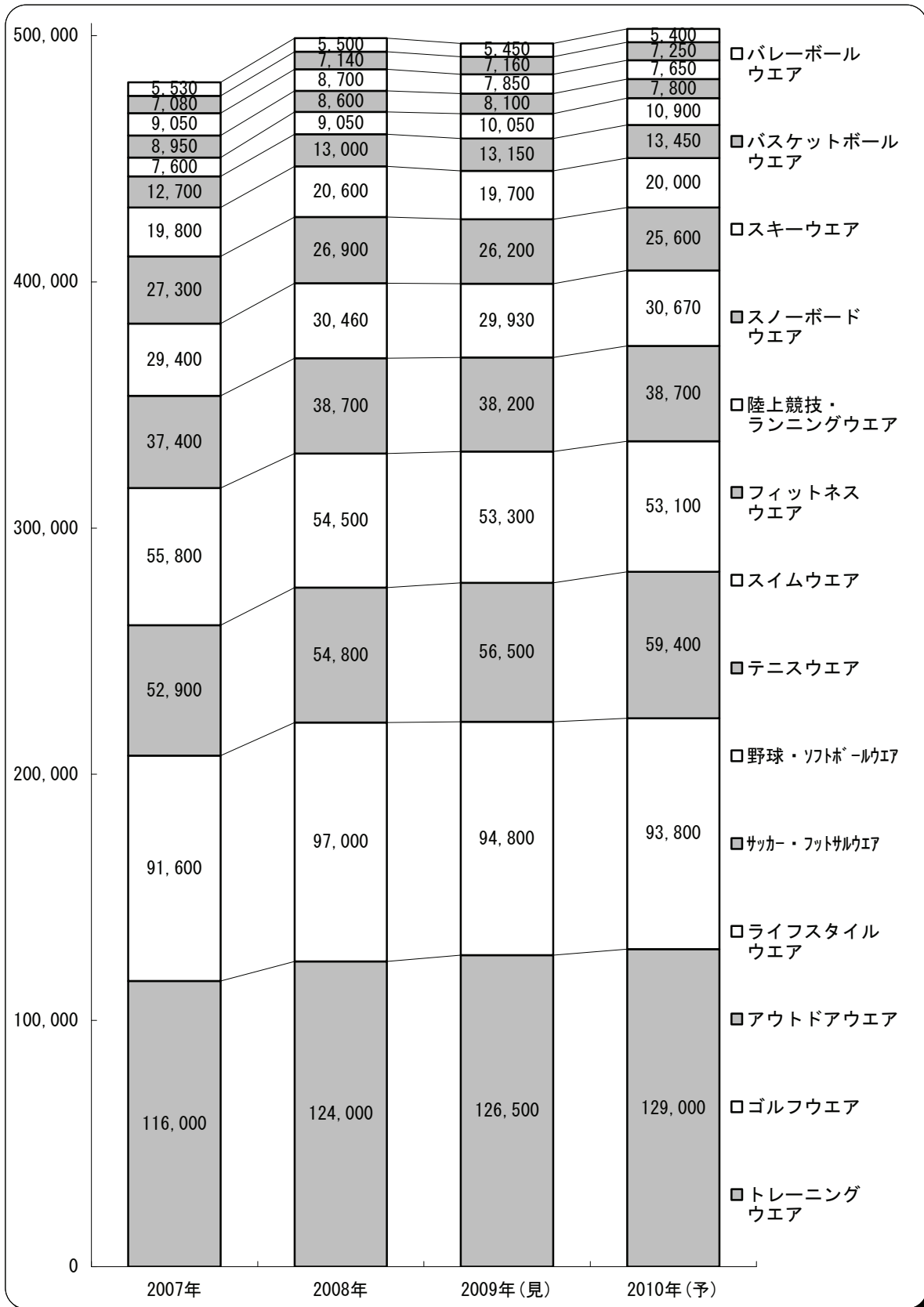
注1：メーカー出荷金額ベース

注2：(見)は見込値、(予)は予測値

矢野経済研究所推計

表 2. スポーツアパレル/カテゴリー別国内市場規模推移

(単位：百万円)

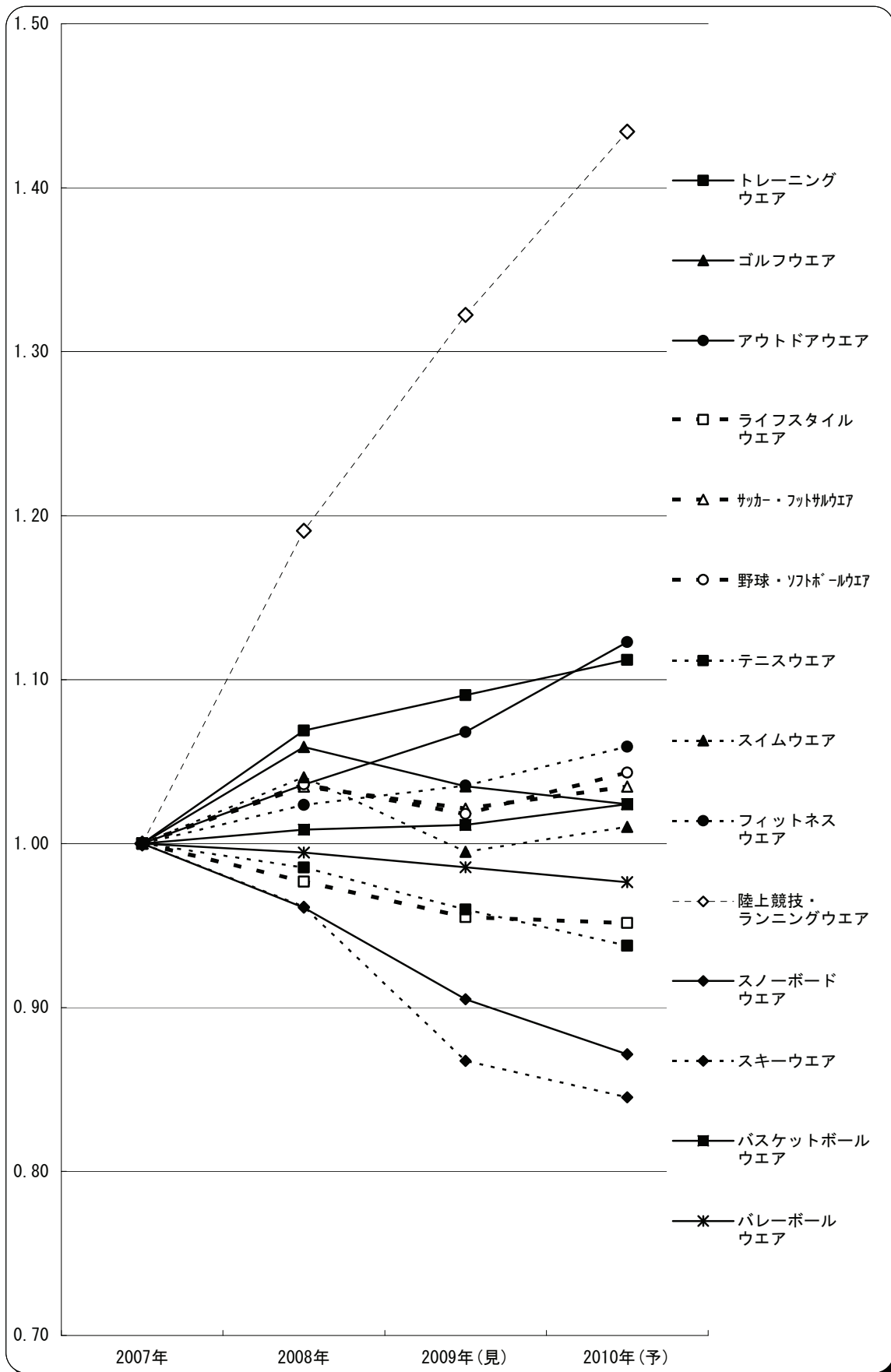


注 3 : メーカー出荷金額ベース

注 4 : (見) は見込値、(予) は予測値

--- 矢野経済研究所推計

表 3. スポーツアパレル/カテゴリー別国内市場規模伸長率推移



注5: メーカー出荷金額ベース

注6: (見)は見込値、(予)は予測値

矢野経済研究所推計